

日本茶輸出セミナー

開催目的

近年、世界的な健康意識の高まりやインターネットを通じた国際的商談・交流の浸透もあり、日本茶の輸出は拡大を続けている。しかしながら、コロナ流行後世界の市場で加速している安全意識の高まりにより、それに伴う認証制度の発達や残留農薬検査の厳格化は、事業者にとって大きなコストとなってきた。輸出産地の育成が盛んであるが、輸出の拡大には基準を満たす茶の生産体制の整備に加え、具体的な貿易実務への対応や資金的裏付け、また海外の市場環境把握などの障壁がある。

これらの対策は個々の事業者や地域、またその指導に当たる行政主体が自覚的に行動するほかなく、またこうした自覚的、自律的行動こそが輸出力の増強にほかならないが、輸出には上述のような専門知識が多く、このためのノウハウ提供が急務である。

そこで今回は、2部制3回シリーズの輸出セミナーを行い、広く事業者、業界関係者の参加を募集する。第1部のテーマは①輸出貿易基礎、②海外マーケティングの事例紹介、③残留農薬検査、④輸出を支援する日本政策金融公庫の試みの4つである。また第2部は、3回シリーズで英国規格協会による世界の食品安全・農産物認証の講義を行う。

なお、本講座はオンラインによる事前申込制だが、10月28日、11月4日、11月11日のライブ講義への参加が難しい受講者には、1月末までの録画視聴権を提供する。

対象：輸出に関心のある事業者・行政の方々

日時：2022年10月28日・11月4日・11日 13時30分～

(3回シリーズ講義+1月末まで録画視聴可能)

開催方式：オンラインライブ・録画視聴

事前登録先 URL：https://event.event-planner.net/#/g-mtgzig

問合せ先：event-convention@tkp.jp

申込締切：ライブ視聴希望者 10月28日 13時20分

録画視聴希望者 2022年12月31日

■講座内容・登壇者一覧:

第1回	第1部	輸出貿易の基礎	坂田貿易支援事務所 石川 ゆき
		海外マーケティングの実際	(株)MINTEL JAPAN 吉田 亜紀子
	第2部	世界の認証—認証とは	BSI(英国規格協会)ジャパン(株)
第2回	第1部	残留農薬検査の基礎	全農営農技術センター 北村 禎
	第2部	世界の認証—世界各地の認証	BSI(英国規格協会)ジャパン(株)
第3回	第1部	日本政策金融公庫の試み	日本政策金融公庫 綿貫 大祐
	第2部	世界の認証—各種認証の理解	BSI(英国規格協会)ジャパン(株)

講師略歴:

①坂田貿易支援事務所 代表 石川 ゆき(いしかわ ゆき)

輸出商社、工業製品メーカーにて10年の海外営業・貿易実務経験を持つ。その後独立し、現在は坂田貿易支援事務所の代表、並びに様々な公的機関のアドバイザーを務め、コンサルティング・実務代行の両面で中小企業の海外展開を伴走支援している。

②株式会社 MINTEL JAPAN Head of Account Management 吉田 亜紀子(よしだ あきこ)

総合商社勤務を経て、2010年より株式会社 Mintel Japan に勤務。食品、飲料、美容化粧品等の大手消費財メーカー、広告代理店、政府機関のアカウントマネージメント及び国内の顧客管理統括を担当。

③BSI ジャパン株式会社(英国規格協会日本支部)

1901年設立の世界最古の国家規格協会 British Standard Institution(英国規格協会)の日本法人。英国王室憲章を授与され、ISO および CEN の設立メンバーであり、提供サービスは多岐に渡るが、国際的な規格の策定、また ISO 等の認証会議の議長国を多数務める。世界28か国65都市に拠点を有する。

④JA 全農 営農・技術センター 残留農薬検査室 北村 禎(きたむら ただし)

1995年 東京大学大学院農学・生命科学研究科 修士課程修了

同年 全国農業協同組合連合会入会 農業技術センター 農薬研究部 配属

(現 営農・技術センター 農薬研究室)農薬に関する試験研究を担当

2003年~2020年 全農 肥料農薬部(現 耕種資材部)を中心に各種勤務。おもに農薬の技術普及業務を担当

2020年4月~ 現職

⑤日本政策金融公庫 農林水産事業本部情報企画部海外展開支援グループ 綿貫 大祐(わたぬき だいすけ)

2000年4月農林漁業金融公庫(現日本政策金融公庫)入庫。

日本貿易振興機構(ジェトロ)上海事務所出向などを経て2022年4月より現職。

企画・実施：日本茶輸出促進協議会